

スローガン
「安心、安全、安定」を
モットーに
みんなの絆で支え合う
地域づくり

ふれあい神亀だより

令和2年3月1日
第8号

編集・発行
倉敷市神亀地区
社会福祉協議会

昭和55年といいますが、日本の自動車生産台数が世界第1位になるほど、目まぐるしい経済成長を続けていた頃です。世の中が勢いづき、その中での開校ということ、で、当時携われた方々の苦勞も多かったのではないのでしょうか。

そして本年に至るまで、子

連島神亀小学校は本年度、創立40周年を迎え、記念式典を開催いたしました。ご来賓には伊東市長を始め、行政の方々、歴代の校長先生、地域の方々、PTA諸先輩方と、たくさんの方々をお招きさせていただきました。

本校は、昭和55年4月に連島西浦小学校から分離し、連島神亀小学校として開校されました。

本校は、昭和55年4月に連島西浦小学校から分離し、連島神亀小学校として開校されました。

連島神亀小学校 創立40周年をむかえる

日時 令和元年十月十八日(金)
場所 連島神亀小学校体育館 PTA会長 岡部 晃洋

平素より、地域の皆様には連島神亀小学校の教育活動にご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。私は、庵谷前校長の後任として平成31年4月より本校に着任いたしました。校長の山田素道と申します。



地域の皆様に感謝

倉敷市立連島神亀小学校
校長 山田 素道

ども達を育て、本校を支えてくださった皆様には、本当に頭が下がる思いであり、この場をお借りし、お礼を申し上げます。

本年度は、山陽新聞に本校の特集を2回記載して頂きとても良い記念になりました。

一昨年度より、創立40周年記念事業実行委員会を発足し、第二の校歌「集いの歌」を復活させようという目標が生まれ、現実には復活を果たし、子ども達はそれを誇りに



連島神亀小学校の児童のため、地域のために微力ではございますが、全力で取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。さて連島神亀小学校では、もつとい学校にするために「あいさつ」「くつそろえ」「無言清掃」「廊下歩行」の4つの柱を当たり前にできるように取り組んでいるところで、「くつそろえ」と「無言清掃」は多くの子どもたちが出来るようになってきています。その効果からか、子ども達が集中して取り組んだり、



思ってくれました。実行委員として万感のおもいであります。記念事業としては、体育館玄関の向かいに芝生があり、20周年記念に設置された亀のモニュメントの隣へ、ハナミズキを植樹させていただきました。

そして、連島神亀小学校区の私たちは、皆様と共に次の50周年に向けてこの地を共有し、未来への思いを馳せられることが、とても素敵なことであると感じています。



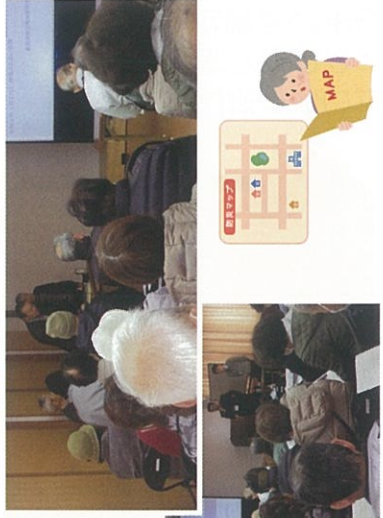
落ち着きが見られたりしています。「あいさつ」については、子ども達は意識しているのですが、十分にできていくわけではありません。もつとあいさつができるように児童会が中心となってあいさつ運動を行い向上を図っています。

地域でも、より一層の声掛けをお願いします。連島神亀小学校に赴任してころに残った地域活動に「ふれあい夏祭り」と「とんど祭り」があります。地域の方が計画して、子ども達を楽しませるすばらしい会を開催してくださっていることを大変ありがたく思いました。地域で子ども達を大切に育てていることが伝わってきました。今後子どもたちのために地域の皆様により一層のご理解とご協力をお願いします。



避難警報

レベル1	気象庁発表・気象情報に注意
レベル2	〃 〃 〃 避難方法の確認
レベル3	倉敷市発表・高齢者等は避難
レベル4	〃 〃 〃 全員避難が必要
レベル5	〃 〃 〃 命の危険



防災出前講座の開催

日時 令和二年二月十七日(金)
場所 神亀ふれあい会館
神亀地区社会福祉協議会 会長 茶木勝行

倉敷市防災危機管理室より、一昨年の西日本豪雨災害、昨年十月「19号台風」による東日本に大雨の影響で甚大な災害が発生した状況。また、「10号台風」が倉敷市から中国地方に通りぬけた経路についてスクリーンにて説明されました。「避難警報について」左表のように昨年より情報が改訂(レベル1〜レベル5)されて皆さんに解り易くなりました。

「西日本豪雨について」

一昨年の西日本豪雨気象情報、災害の概況、倉敷市(アメダス状況)過去歴代の降水記録等について、解説がありました。真備地区浸水状況は、真備地区で各支流と小田川へ合流する各河川の決壊状況について写真解説及び、ハザードマップによる検証結果で、解り易く解説されました。

小田川と合流する、高梁川は昔酒津付近で西高梁川、東高梁川現、水島産業道路という本の河川に分かれていました。その改修工事が「明治後期〜大正時代」行われました。

今回の小田川決壊対策は、令和元年6月より柳井原(貯水池)への付け替え工事が開始されました。

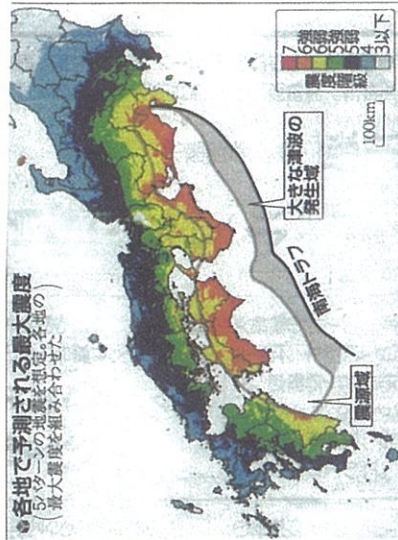
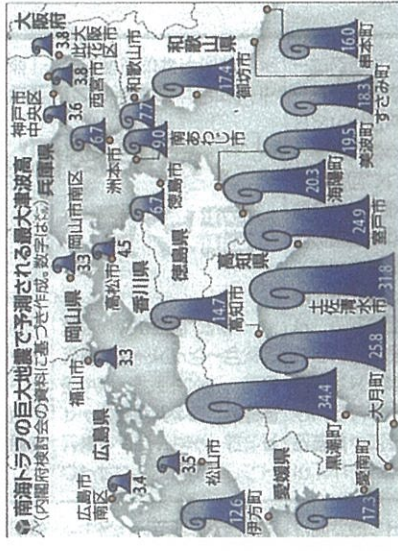
「地震について」

南海トラフ巨大地震のメカニズムについて解説されました。(日本海溝、南海トラフ、フィリピン海溝)

南海トラフ巨大地震発生確率は30年以内には**70〜80%**といわれています。水島、連島地域では震度6弱が想定され、倉敷市では地震発生から「約3時間後」に32mの津波が想定されています。

また阪神淡路震災では多くの人が建物の倒壊による圧死、火災等により多くの犠牲者が発生しました。地震発生時の行動ではまず、【自分の命は自ら守る】ことが基本となります。安全な広場等へ避難することが第一です。

今回の講座を参考に防災については日頃から「災害に備え、命を守る」ことの大切さを



過去大地震発生による津波被害

西暦 年月日	地震名	震度(M)	津波被害	被害死者数
1605年 2/3	慶長地震	7.9~8.0	関東~九州、太平洋沿岸	1万~2万人
1854年 2/24	安政南海地震	8.4	紀伊半島~土佐沿岸	1000~3000人
1946年 12/21	昭和南海地震	8	房総半島~九州沿岸	1400人
2011年 3/11	東日本大震災	8.4	北海道~関東太平洋沿岸	2000人

を知っていただく機会にして頂ければ幸いです。

ふれあい 三代 会食会

令和元年8月8日(水)
神亀ふれあい会館
愛育委員より

今年はいれあい会館にて「そろめん流し」を参加者約70名で再開いたしました。のぞみ保育園 子育て広場 スクスクの幼児及び先生方、作業所 大樹の方、他児童、コミュニケーションの方々協力により長さ15mの竹の中を、そろ

めん・ミニトマト・ブドウ等を流して食べていただきました。幼児たちは、自分の背丈にあつた場所を見つけ、大人の手助けを受けながら廻つゆのお椀と箸を片手に上手に食べておりました。時々流れてくるミニトマト・ブドウに歓声を上げ楽しい時を過ごして頂きました。又、軽食提供及び子ども達には、菓子、フルーツボール、発光するボールとフラッシュライト(光る時計)の予



「昨年は西日本豪雨災害により祭りは自粛致しました。今年はいれあひ夏祭り」は、当日明け方までの長雨にてグラウンドには水溜りが多くできて当日の準備も思うように進まず思案しましたが、午後からは晴天となり皆さんあわただしく準備されて各ブース店も17時のオープニングに間に合うことができました。今回は第15回ということから、舞台を中央から校舎寄りへ変えて開催いたしました。実行委員長の開催挨拶後、神亀小学校の子どもさんたち全員による神亀小のシンパ

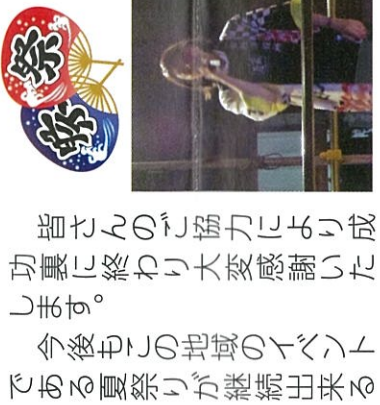
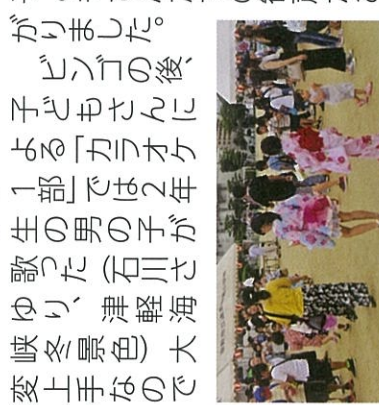
ルである紅日の大巻送りパフォーマンス、神亀小音頭を皆さんで踊りました。つづいて神田3丁目の有志の方々はじめ会場の皆さんで舞台を囲んでの総踊りで夏祭りの雰囲気盛り上げてもら



第15回 神亀ふれあひ夏祭り

日時 令和元年七月十日(日)
会場 神亀小学校グラウンド
実行委員 茶木 勝行

いました。今年、子どもさん対象にビンゴゲーム大会を開催(1等、折りたたみ自転車等、もり沢山の豪華賞品)に大勢の子どもさんたちの歓声がありました。ビンゴの後、子どもさんによる「カラオケ1部」では2年生の男の子が歌った石川さゆり、津軽海峡冬景色)大変上手なので皆さんとっぴりしました。「第2部、大人カラオケ」15回記念特別ゲストとして、地元水島の演歌歌手・幸月美波歌謡ショーで盛りあげてい



ふれあいグラウンドゴルフ大会

日時 令和元年八月三日(土)
場所 神亀小学校グラウンド

今年はいれあひ「三代ふれあいグラウンドゴルフ」大会を真夏の炎天下のなか約50人の方々参加されグラウンドの熱戦がくりひろげられました。地域の子供さんから高齢者まで安全に誰もが簡単に体を動かすことができました。ファミリースポーツとして普及しています。開催時期が毎年小学校のグラウンドを使用することから子どもさんの夏休み期間中の開催としています。とはいえ真夏の大会です、

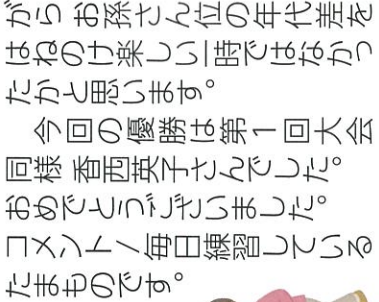


皆さんのご協力により成功裏に終わり大変感謝いたします。今後もこの地域のイベントである夏祭りが継続出来るように皆様のご理解と協力を宜しくお願い致します。今年のとんと祭り当日は曇り空となる時間帯もありましたが、気温は暖かく、その

三世代とんと祭り

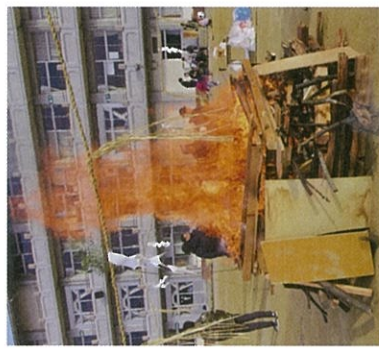
日時 令和2年1月11日(日)
場所 神亀小学校運動場
PITA 藤原 聡美

の支給、休憩時間等には充分配慮して開催することができました。今年はいれあひ5年生の女の子2名の参加があり、一緒にプレーされた方はルール等教えながらお孫さん位の年代差をはねのけ楽しい時ではなかったかと思えます。今回の優勝は第1回大会同様 香西英子さんでした。おめでとうございました。コメント/毎日練習しているたまものです。優勝 (川崎) 香西英子さん(ママ) 準優勝 (入船丘) 吉田敏行さん(ママ) 二位 (川崎) 春石竹一さん(ママ)



矢掛の宿場まつり大名行列

「大名行列」の由来 江戸時代、参勤交代で往来する諸大名の宿場町として繁栄した、山陽道の矢掛宿、昔ながらの本陣・脇本陣は今なお回廊をどめています。毎年11月第一日曜日、矢掛市街地を舞台に、江戸時代へ誘つ、絢爛豪華な大名行列「したたに、したに」という掛け声が町並みに響き渡ります。殿様や姫君・奉行・典医・腰元らに扮した、総勢八十人を超える大名行列が本陣通りを練り歩く様子は見事です。亀島三丁目(入船)馬場さんの「愛敬振りまく奴頭」が写真コンテストに見事最優秀賞を受賞された作品の紹介です。感賞おめでとうございます！



陽気に後押しされるように、たくさんのご参加をいただき大盛況でした。「とんと焼き」は無病息災、五穀豊穡(おひよこそくたい、ぼんちくぼんちく)を祈る日本古来の伝統行事です。各家庭から持ち寄った正月飾りや書初めに点火すると炎が勢いよく燃え上がり、灰が空高く昇っていくのを見つめながら字が上達するよこに祈りました。学校の先生方やPTA、地域のお父さんがお餅をついてくれ、子ども達も自分の背丈程の重たい杵を一生懸命握り体験を楽しんでくれました。その後、つまだてのお餅

もせんぢいやきな餅にして食べました。きな餅も好評で、出来上がるころには長い長い行列ができていました。運動場では羽根つきやコマ回し、けん玉といった昔遊びのコーナーで子どもたちが楽しく遊びました。子ども達の見守りやおもちの整理をしてくださった役員の方々に有難うございました。開催にあたり、前日より皆さんの皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

